

# 広報 ざおう お知らせ版

## 充電式乾電池の捨て方について！

環境政策課 TEL 33-3007

充電式乾電池（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池）、コイン電池、ボタン電池、電子タバコ、電化製品類バッテリー（モバイルバッテリー、加熱式たばこなど）は、役場環境政策課窓口で回収を行っております。処分する際は、不燃ごみやプラスチックごみとしてではなく、環境政策課までご持参ください。

近年、不燃ごみと混ぜて集積所に出すケースが全国的に多く見られています。これにより、ごみ焼却施設で、処理作業中に発煙が多数目撃されています。仙南リサイクルセンターでも、令和5年度中に32件、今年度（8月末時点）17件確認されています。

また、過去には仙南地域においてごみ収集車の車両火災が発災しています。事故の未然防止のために、ご協力をお願いします。



左図の対象品は  
役場環境政策課窓口  
までお願いします！

## 医療系廃棄物（注射針等）の処分方法について！

今年、容器包装プラスチックの中に、医療系廃棄物（注射針やチューブ）が混入されているケースが多発しております。これは、一般ごみとして捨てることはできません。処分時に指導された内容をしっかり守り、処分を行ってください。※病院や薬局など処分された場所でご確認ください。

## 農林水産物等の放射能測定結果

農林観光課 TEL 33-3004

### ◆持ち込み農畜産物の放射能測定結果（測定場所：蔵王町役場）

前回のお知らせ以降、町に持ち込みのあった農畜産物の測定結果はありませんでした。

### ◆ゲルマニウム半導体検出器による検査結果（県調査）

前回のお知らせ以降、県で実施した町内の農林水産物等の放射能測定結果は次のとおりです。

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取日	放射性セシウム	食品中の放射性物質（セシウム）の基準値
もも（露地）	R6.8.4	不検出	100
原乳（仙南クーラーステーション）	R6.4.18 R6.7.18	不検出	50

※測定値は、放射性セシウム134と137の合計値となり、令和6年9月12日現在公表分です。

※測定値が「不検出」とは、放射性物質の濃度が検出下限値未満の状態を表します。

## 水道水の放射能測定結果

上下水道課 TEL 33-3000

町の水道水について、令和6年9月に測定したところ放射性物質は検出されませんでした。

仙南・仙塩広域水道の南部山浄水場（白石）から供給されている水道水についても令和6年7月8日までに行われた測定で、放射性物質は、検出されませんでした。

### ゲルマニウム半導体検出器による検査結果（町調査）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取日	放射性セシウム	食品中の放射性物質（セシウム）の基準値
遠刈田給水栓	R6.9.12	不検出	10

# 各施設の空間放射線量測定結果

## ● 蔵王町役場前駐車場 令和6年3月から令和6年8月までの測定結果(平均値)

測定月 高さ(m)	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1.0	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
0.5	0.04	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05

※測定器:ALOKA TCS-172B 単位:  $\mu$  Sv/h(マイクロシーベルト/時間)

## ● 小学校・中学校・幼稚園

測定箇所		測定月日	高さ(m)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)
小学校	円田	校庭	0.5		0.06	
			0.5		0.04	
	永野		0.5		0.05	
	宮		0.5			0.05
	遠刈田		0.5	0.05		
中学校	円田	校庭	1.0		0.05	
	宮		1.0			0.05
	遠刈田		1.0	0.04		
幼稚園	永野	園庭	0.5		0.06	
			砂場	0.1		-
	遠刈田		0.5	0.04		
			砂場	0.1	0.04	

## ● 保育所・認定こども園・児童館・保育園

測定箇所		測定月日	高さ(m)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)
保育所	永野	園庭	0.5		0.05	
		砂場	0.1		0.06	
ど認蔵も定王園こ町	宮	園庭	0.5			0.04
		砂場	0.1			0.04
児童館	円田	園庭	0.5		0.05	
		砂場	0.1		0.05	
	平沢	園庭	0.5		0.04	
		砂場	0.1		0.05	
	永野	園庭	0.5		0.05	
		砂場	0.1		0.05	
	宮	園庭	0.5			0.06
		砂場	0.1			0.07
	遠刈田	園庭	0.5	0.04		
		砂場	0.1	0.04		
たんぼぼ保育園	砂場	0.1			0.05	

## ● その他施設

測定箇所		測定月日	高さ(m)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)
運動総合公園	多目的グラウンド		0.5		0.04	
	B&Gグラウンドゴルフ場(芝生面上)		0.5		0.06	
	B&G芝生遊具場		0.1		0.05	
	サンスポーツランド蔵王運動場		0.5	0.04		
	平沢コミュニティグラウンド		0.5		0.06	
	白山運動公園グラウンド		0.5		0.04	
	七日原グラウンド		0.5	0.03		
	向山運動公園グラウンド		0.5			0.05
	宮松ヶ丘団地1号公園		0.5			0.06
	宮松ヶ丘団地2号公園		0.5			0.05
	遠刈田温泉「神の湯」前		0.5	0.06		
	黄金川温泉		0.5			0.04
	遠刈田こけし館		0.5	0.03		
	遠刈田こけし館(芝生面上)		0.1	0.04		
	遠刈田公園		0.5	0.03		

●人が自然放射線(宇宙、大地、食物摂取)によって受ける世界標準年間放射線量は、2.4ミリシーベルト 又電気事業連合会「原子力・エネルギー」図面集2011(改)によると、宮城県における自然放射線量(バックグラウンド)は0.94ミリシーベルト(0.107  $\mu$  sv/h)で、この自然放射線と医療目的の被曝は年間被曝許容限度には含みません。

(1シーベルト=1,000ミリシーベルト=1,000,000マイクロシーベルト)

●毎時0.23マイクロシーベルトの箇所屋外に8時間、屋内に16時間いたとすると、年間追加被曝量は1ミリシーベルトとなる。

{(0.23-0.04)×8時間+(0.23-0.04)×16時間×40%}×365日÷1,000=0.999ミリシーベルト

※①0.04は大地からの放射線量 ②40%は建物による低減率